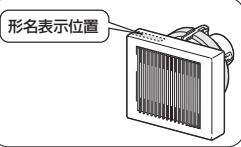


三菱パイプ用ファン（居室・トイレ・洗面所用）

形名 **V-08PYD7**

**取扱説明書**

お客様用



■ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

この製品は日本国内専用です。日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

## 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	注意
<p><b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの</p> <p><b>禁止</b> ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇（電気器具その他）のスイッチの入切をしない 爆発や引火の原因。</p> <p><b>水ぬれ禁止</b> ●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因。</p> <p><b>分解禁止</b> ●改造や分解はしない 火災・感電・けがの原因。 修理はお買上げの販売店または「三菱電機ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。</p> <p><b>指示に従う</b> ●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。 ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。 <b>（異常・故障例）</b> ●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●回転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です。） ●こげ臭いにおいがする。 ●本体据付部に腐食・破損等がある。等 ※すぐに分電盤のブレーカーを切って、販売店へ点検修理を依頼する。 ●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電やけがの原因。</p>	<p><b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの</p> <p><b>禁止</b> ●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。 ●高温（40℃以上）になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所で使用しない 火災の原因。</p> <p><b>接触禁止</b> ●運転中に羽根の中に指や物を入れない けがの原因。</p> <p><b>指示に従う</b> ●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないけがの原因。 ●部品の据付けは確実に行う 落下によるけがの原因。 ●長期間使用しない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。</p>

## 故障かな？と思ったら

●次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	点検・処置
スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが切れていませんか 整流板が本体からはずれていませんか	「入」にします 据付け直します
運転中に異常音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていますか 羽根・グリルにほこり・異物が付着していませんか 整流板が本体からはずれていませんか	据付け直します 清掃します 据付け直します
羽根が逆転する、回転が遅い、または不規則	外風の影響によって発生する可能性があります	無風状態で確認します

●モーターの軸受は回転がなして時間が経つにつれ、音が変わることがありますが異常ではありません。

## アフターサービス

■修理を依頼されるときは

- 修理料金は 技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。  
●技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。  
●部品代…修理に使用した部品代金です。  
●出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品名 三菱パイプ用ファン
2. 形名 ○○-○○○
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

## ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

**取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ**

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて  
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報、下記のとおり、お取り扱いします。  
1. お問合せ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様および下記の電気を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。  
2. 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などから業務委託する場合、当該委託の定める範囲に準じて個人情報を取り扱います。  
3. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

### ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

●三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル **0120-726-471** (無料)

三菱電機株式会社 PHS対応  
三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659 (有料)  
〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

■ご相談対応  
平日（土・日・祝及び弊社休日以外）  
9:00～12:00  
13:00～17:00

### 修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)

三菱電機株式会社 PHSの場合  
TEL **0570-01-8634** (有料)

www.melsc.co.jp FAX **0570-03-8634** (有料)

2次元コードでも簡単にアクセスできます。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。  
●電話番号をお確かめのうえ、お間違のないようにおかけください。

### ■補修性能部品の保有期間

当社は、このパイプ用ファンの補修性能部品を、製造切切り後6年保有しています。補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 仕様

形名	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)	質量 (kg)
V-08PYD7	50	2.0	45	23.5	0.43
	60	2.3	50	26	

※特性はJIS C 9603に基づく

## ご使用にあたってのお願い

- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください（中性洗剤をご使用ください）。シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンジャーなどの研磨材入り洗剤、殺菌剤、消毒剤など（異常音の発生、変質、変色、塗装はがれの原因）

## 使用方法

運転は壁のスイッチで運転開始と停止を行います。

## お手入れ

グリル、羽根にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。約4か月に1度を目安に清掃してください。

●長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検（「愛情点検」を参照ください）をお願いします。

**1. 清掃部品のはずしかた**

グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げてははずす。

**2. 清掃のしかた**

1. グリルは中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗い、よく乾かす。
2. 羽根、本体は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふく。
3. 整流板は羽根を取りはずし、掃除機の先の細いノズルを用いてほこりを吸引してください。

**お願い**

- 洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
- お手入れの際、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。（異常音発生の原因になります）

## 3. お手入れ後の据付け

1. 据付けは取りはずしと逆の順序で行う。
2. 据付け後、次の確認をする。  
(1) グリルが確実に据付けられていますか。  
(2) 異常な音が出ていませんか。（必ず運転をして確認してください）

## 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】  
●経年劣化により危険の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するため、電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【設計上の標準使用期間とは】  
●運転時間や過熱度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく標準的な期間です。  
●※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものではありません。  
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。  
●【経年劣化】とは長期間にわたる使用や取扱いに伴い生ずる劣化をいいます。

環境条件	JIS C 9921-2	定格電圧による
電圧	単相100V	定格電圧による
周波数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による
湿度	20℃	JIS C 9603から引用
湿度	65%	
設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件	定格負荷	仕様欄による
想定時間	1年間の使用時間	
換気時間*	2410時間/年	
浴室	2193時間/年	
トイレ	2614時間/年	
浴室	1671時間/年	

注\*) 24時間換気の場合は、8760時間/年とする。

**愛情点検 ☆長年ご使用の換気扇の点検を!**

ご使用の際このようなことはありませんか。

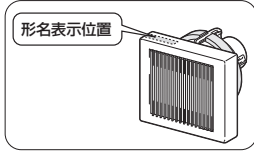
- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- こげ臭いにおいがする。
- 本体据付部に腐食、破損等がある。

**使用中止** 故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ	形名	V-08PYD7
サービスを依頼される時便利です。	お買上げ年月日	年 月 日
	お買上げ店名 (住所) (電話番号)	( ) ( ) ( )

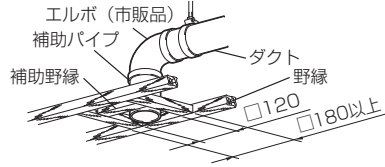
この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。材質名は主材料にISO規定の略号を使用。

形名表示位置



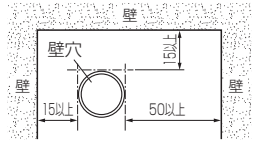
### 天井据付けの場合 (野縁組立てとダクト配管)

1. 下図のように野縁組立てをし、ダクト配管をする。



お願い

- 補助パイプが壁から上図の位置になるようダクト配管を行ってください。



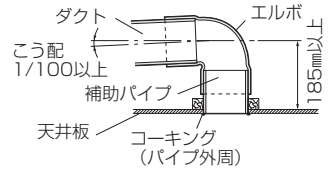
単位 (mm)

2. ダクトの中心から天井板まで 185mm 以上離して天井板をはる。

3. エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。パイプと天井のすき間はコーキング処理を施します。

お願い

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に 1/100 以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。



※補助パイプは天井面より室内側に出ないようにしてください。

### 2. 電気工事

#### 警告

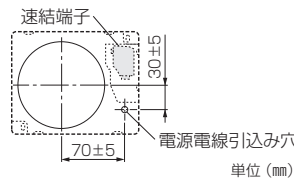
- 交流 100V を使用する直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。

#### 注意

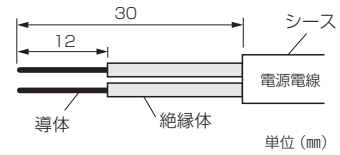
- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は、感電・火災の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する感電の原因。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。

1. 電源電線を下図の位置から室内に引き込む。
  - 電源電線は VVFφ1.6、φ2.0 2 芯をご使用ください。
2. 電源電線の先端を下図に合わせて皮むきする。
  - 端子部への水・ほこりの浸入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。



単位 (mm)



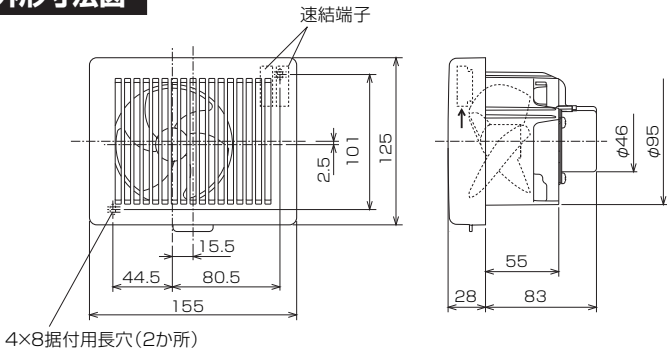
単位 (mm)

#### お願い

- 高温 (40°C 以上) になるところに据付けしないでください。(故障の原因になります)
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けしないでください。(故障の原因になります)
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。(振動の原因になります)
- システム部材 (ウェザーカバーなど) は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚により取付けられないものがあります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

### 安全のために必ず守ること → 梱包箱を確認ください

### 外形寸法図



4×8据付用長穴(2か所)

### 据付方法

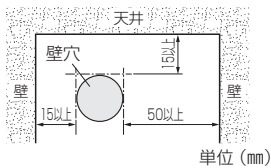
#### 注意

- 湿気が多い場所 (浴室及びシャワー付洗面台・衣類乾燥機などの湿気が直接当たる場所)、結露する場所には据付けない (感電・故障の原因になります)

### 1. 据付け前の準備

#### 壁据付けの場合 (壁穴へのパイプの固定)

1. 据付け場所を決めて穴をあける。
  - 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
  - 必ず床面より 1800mm 以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。



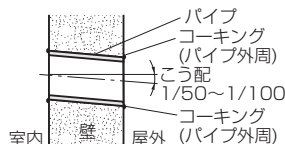
単位 (mm)

2. 壁穴にパイプを確実に固定する。パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。

- 電源電線を室内に引き込んでから (2.電気工事参照) 行ってください。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込んでください。

お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。



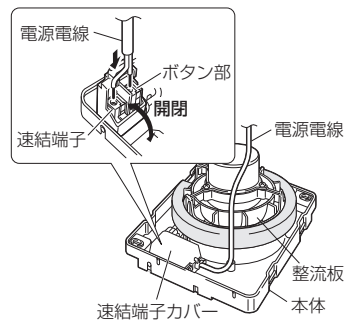
※パイプは壁面より室内側に出ないようにしてください。

### 3. 本体の据付け (壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです)

1. 本体からグリルをはずす。
2. 電源電線を速結端子に差し込む。
  - ① 速結端子カバーを図のように開ける。
  - ② 電源電線を速結端子に差し込む。
  - ③ 確実に速結端子カバーを元通り閉じる。

お願い

- 電源電線の皮むき部分は確実に速結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。
- 電源電線は軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線は本体面に密着させて配線してください。
- 電源電線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部を押しながら電源電線を引き抜いてください。



3. 本体を固定する。
 

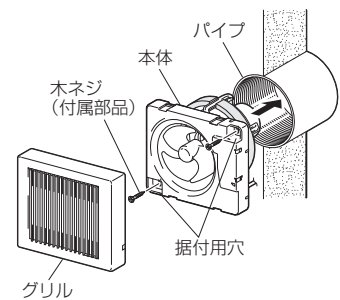
本体の上下を確認して本体をパイプに差し込み、付属の木ネジ 2 本で本体を固定する。

  - 左右の据付用穴をご使用ください。
  - 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。

お願い

- 整流板が本体からはずれないように注意してください。(羽根あたりの原因になります)

4. グリルを本体に据付ける。
  - グリルの方向を間違えないよう本体に据付けます。



5. 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

6. 試運転を行う。

- 換気扇が運転・停止するかを確認してください。(整流板が本体からはずれている場合は、整流板を本体に据付け直してください)
- 異常な音・振動などがなければ確認してください。